

令和 2 年 3 月 3 1 日

薩摩川内市議会

議長 福田 俊一郎 様

（会派代表者経由）

会派の名称 公明党

経理責任者氏名 中島 由美子



政務活動費に係る収支報告書

薩摩川内市議会政務活動費の交付に関する条例第 8 条の規定により、次のとおり、平成 3 1 年度の政務活動費に係る収支報告書を提出します。

1 収入

政務活動費 360,000 円

2 支出

（単位：円）

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	252,388 円	7/24 北九州市 1/14~17 沖縄県宮古島市、石垣市、那覇市 2/20~21 下甕町、鹿島町
研 修 費	80,885 円	7/23 福岡市
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費	5,951 円	地方行政キーワード
広 報 費		
広 聴 費		
要 請 ・ 陳 情 活 動 費		
会 議 費		
人 件 費		
事 務 費	23,461 円	インクカートリッジ コピー用紙等
合 計	362,685 円	

3 残余の額

0 円

注 1 備考欄には、主たる支出の内訳を記載すること。

2 領収書、活動報告書その他必要な書類を添付すること。

3 会派に属さない議員の場合は、「会派代表者経由」の必要はないこと。

4 会派に属さない議員の場合は、「会派の名称」は記入しないこと。

5 会派に属さない議員の場合は、「経理責任者氏名」とあるのは「議員の氏名」と読み替えること。

令和2年3月31日

薩摩川内市議会

議長 福田 俊一郎 様

会派の名称 公明党

代表者名 中島 由美子



活動報告書

1 調査研究事業

【第1回政務調査】

(1) 視察年月日

令和元年7月24日（水） 1日間

(2) 視察参加者

杉菌 道朗、中島 由美子

(3) 視察先及び視察項目

北九州市

・北九州地区小型風力発電施設視察

(4) 視察の概要

別添報告書のとおり

【第2回政務調査】

(1) 視察年月日

令和2年1月14日（火）～17日（金） 4日間

(2) 視察参加者

杉菌 道朗、中島 由美子

(3) 視察先及び視察項目

沖縄県宮古島市

・観光行政について

・エコアイランド宮古島の推進について

沖縄県石垣市

・放課後子ども総合プラン・行政計画について

・学び遊び活動支援人材バンクについて

沖縄県那覇市

・エコオフィス計画について

(4) 視察の概要

別添報告書のとおり

【第3回政務調査】

(1) 視察年月日

令和2年2月20日(木)～21日(金) 2日間

(2) 視察参加者

杉菌 道朗、中島 由美子

(3) 視察先及び視察項目

薩摩川内市里町、上甑町、下甑町

- ・甑島館視察及びエリアワンエンタープライズ(株)との意見交換
- ・里・上甑支所との意見交換
- ・下甑地域行政施設視察
- ・下甑・鹿島支所との意見交換

(4) 視察の概要

別添報告書のとおり

2 研修事業

(1) 研修年月日

令和元年7月23日(火) 1日間

(2) 研修参加者

杉菌 道朗、中島 由美子

(3) 研修先及び研修内容

福岡市 リファレンス 駅東ビル

- ・地方議会議員研究セミナー受講
- 1. あなたの知らない議会のチカラ
- 2. 実務的な質問の仕方

(4) 研修の概要

別添報告書のとおり

3 広報事業

4 広聴事業

5 要請・陳情活動事業

6 その他活動

政務調査報告書

令和元年 7月 31日

薩摩川内市議会議長

福田 俊一郎殿

公 明 党

代表 中島 由美子



調査日 : 令和元年 7月23日～ 7月24日

研修参加者 : 中島由美子 ・ 杉菌道朗

場所 : 福岡県福岡市、北九州市

調査事項 :

1. 地方議会議員研究会セミナー
 - ① 研修会 ; 「あなたの知らない議会のチカラ」 川本達志氏
 - ② 研修会 ; 「実務的な質問の仕方」 川本達志氏
2. 北九州地区小型風力発電設備について

概要については以下の通り

● 地方議会議員研究会セミナー

講師 川本 達志氏 (自治体経営コンサルタント)

1. あなたの知らない議会のチカラ

議員力とは・・・1. 評価する力

- ・事業の必要性と成果、抜け落ちた事業はないか、優先すべき事業はないか 成果は上がるのか
- ・予算書に成果を書くことが大事・・・事業シートを作り、成果も提出、ホームページに掲載
- ・決算は、成果を見る。何をやったかは成果ではない

2. 財政を見通す力・・・持続可能な財政運営か？借金が返せるのか

3. 市民の声から政策課題を引き出す力（課題発見、設定⇒質問に）
4. 制度を知り、制度の限界を知るチカラ（課題＝制度）
5. 人の力を借りる力（多数決）・・コミュニケーション能力が大事

感想・わかりやすい話だった。2元代表制の意味をもう一度しっかり理解し、議会が力を合わせることの大切さ、首長に対立するわけではないが、それなりに対案を出したり、協力したりできるウィンウィンの関係作りが大事だと思った。そのためには、党の違いは別にして、保守系は力を合わせていくべきだと思う。

市民の皆様の声を聴く力は、訪問活動の中で養っており、いろいろな声をお聞きしながら、質問に活かしてきたのでこれからももしっかり取り組んでいきたいと思った。

2 実務的な質問の仕方

- ・ 執行部をドキッとさせる、執行部を困らせる質問がいい質問？
- ・ 成果を出すためには、事前の準備が大事

市民の持つ課題解決のために執行機関である役所が動き、解決に近づく質問を。

感想・毎回している質問だが、成果が上がるためには、市民の声を聴くこと、現状をよく知っていること、制度などにも精通していることが大事だと思う。また、予算が絡むことなので、これくらいならできるのではという担当課との事前のやり取りも大事だと改めて感じた。

今後もいろいろな声を聴きながら、事前調査をしっかりし、質問に挑戦していこうと思った。

3 北九州地区小型風力発電設備について

ウィンドレンズ社 社長様ご案内

- ひびきLNG基地風車見学
- 北九州市エコタウンセンター風車見学
- NSウィンドパワー1. 5MW×10台大型風車見学
- 洋上大型風車2. 5MW×2台見学

社長さんが自ら案内してくださいました。ウィンドレンズ社の風力発電は、騒音が小さく騒音苦情が全くないとのことだった、薩摩川内市の川内駅前（東口）に立って

いる風力発電である。町中にも適している。北九州市内にあちこちに立っておりそれなりに普及していると思った。まだまだ問題もあり、家庭で立てるには、金額が合わないとのことだ。買い取り制度に入っていないため、なかなか家庭や個人への普及は難しいようだ。

自然エネルギーは、大事だが、なかなか原発に代わるものになりえないと残念ながら感じた。

以上









政務調査報告書

令和 2年 1月27日

薩摩川内市議会議長
福田 俊一郎 殿

公明党
代表 中島由美子



調査日 : 令和2年 1月14日～ 1月17日
研修参加者 : 杉藪道朗 中島由美子
調査地 : ・ 沖縄県宮古島市
・ 沖縄県石垣市
・ 沖縄県那覇市

調査事項 : ① 観光行政について (地元資源の発信と魅力ある誘致策は)
② エコアイランド宮古島の推進について
③ 放課後子ども総合プラン・行動計画について
④ 学び遊び活動支援人材バンクについて
⑤ エコオフィス計画について

調査の概要は以下の通りでした。

記

1 : 観光行政について

○ 調査地講師

沖縄県宮古島市 観光商工部 観光商工課 観光推進係 (伊佐氏)
議会事務局次長補佐 (富浜氏)

○ 概要説明（資料あり）

・ 宮古島市は平成 17 年 10 月、平良市、下地町、城辺町、上野村、伊良部町の 5 市町村が、合併し宮古島市が誕生。6 つの島からなり、大神島を除く 5 島については架橋による行き来が可能。人口 55,409 人（令和元年 11 月末現在）面積 204.20 km²

人口はわずかながら増えている。

・ 観光客数は、大体 30 万から 40 万人前後であったものが、無料で渡れる日本一長い伊良部大橋（3540m）完成の平成 27 年から急速に伸び 50 万人を超え平成 30 年には 100 万人台を突破。航空路線の本土直行便増加、クルーズ船寄港回数の増加による。

宮古⇄那覇路線：14 便（ANA, JTA, RAC） 宮古⇄羽田路線：2 便

宮古⇄関西路線：1 便 宮古⇄中部国際空港路線：1 便

宮古⇄福岡路線：6 月 1 日～10 月 26 日の期間運行

・ 新たな空の玄関口 みやこ下地島空港ターミナル（2019 年 3 月）オープン

宮古（下地島）⇄成田路線：週 4 便/トップシーズンは毎日（ジェットスター・ジャパン）

2019 年 7 月 3 日からは、関西空港路線、7 月 19 日からは香港路線が就航

（片道 5990 円）

（片道 2280 円）

・ クルーズ船寄港回数も平成 27 年度 14 回から毎年 89 回、147 回、153 回、令和元年 203 回と増え続けていることが観光客数増加につながっている。

・ クルーズ船乗客の国籍は、中国、台湾、香港が乗客全体の 96.5% を占める。（空路は国籍確認が困難）

・ クルーズ船の大型化に対応した国際クルーズ拠点整備：令和 2 年春ごろ暫定供用開始予定（14 万トン級）さらに 22 万トン級岸壁整備を行う。17 万トン級で乗客 5000 人

・ 観光に関連する課題

1. 交通機関不足（タクシー、バス）→臨時路線バス等で対応
2. 観光地の駐車場、トイレ不足→主要観光地の調査を実施予定
3. ゴミ問題：ごみ散乱→マナー啓発うちわを製作・配布
4. 外国人観光客の増加に伴い、案内板の多言語化が必要
5. インバウンド効果の波及・・・経済効果がバス・タクシー、大型商業施設、大型飲食店に限定しているようだ。仕組み作りが必要
6. ほぼ全業種で人手不足

・ 第 2 次宮古島市観光振興基本計画（2019 年度から 2028 年度）策定

年間入域観光客数 200 万人 観光消費額 949 億円

観光客の満足度 75% 宿泊業・飲食サービス業の就業者数 3000 人

→ 宮古島市観光推進協議会、観光実務担当者会議を設置

○ 所感

テレビなどでも宮古島のことが取り上げられ、話題の島だと思う。空路が関東、関西、中部方面から直接行ける体制がとれていることやクルーズ船寄港増加により100万人を超える入り客数があると改めて交通の便が数多くあることの魅力を感じた。

しかしながら、ゴミ、トイレ、マナー、タクシーなどの2次交通不足など様々な問題もあり、また観光客による交通事故も増えているとのこと、急速に観光客が増えたことで、対応が遅れていることも感じた。

ホテル建設が増えていることに対する行政の取組について質問したが、何も対策をとっていないかった。民間のすることなのでということだったが、行政としても考えるべきではないかと思った。

伊良部大橋という3540mの無料で渡れるに日本一長い橋の開通により観光客が増えたというので、薩摩川内市も甑架橋の開通は一つの観光の目玉にはなっていくのではと思う。スケールはくらべものにはならないが、どこまで観光客を増やしていくのかまたふやしていけるのか市として戦略を立てるべきではないかと思う。

2 : エコアイランド宮古島の取組について (持続可能な島づくり)

○ 調査地講師

企画政策部エコアイランド推進課 エコアイランド推進係 (友利氏)

○ 概要説明 (資料あり)

・宮古島は四方を海に囲まれた隆起サンゴ礁からなる平坦な島。大きな河川はなく台風や干ばつを受けやすい厳しい環境にある。農水産業と観光業が主な産業。農作物は基幹作物であるサトウキビ、他に、葉タバコ、マンゴーなどの果樹栽培、野菜ではゴーヤー、かぼちゃ、とうがんなどの栽培が盛ん。水産業では、カツオ、マグロ、タカサゴ、クルマエビ、モズク、海ブドウ。泡盛の製造、ミネラル豊富な地下水で作る製塩業や伝統工芸品である宮古上布などがある。

・水無し農業からの脱却をめざし、地下ダム灌漑整備事業を実施。S62年度～H12年度 総事業費640億円 (国の事業)・・・農業用水のみ

・エコアイランド宮古島とはいつまでも住み続けられる豊かな島=持続可能な島づくり

エコアイランド宮古島宣言2.0 ～千年先の未来へ～

2030年、2050年に目指すべき5つのゴールを設定 (H31年)

宮古島市版SDGsに位置付け

- ・エネルギー・・・より安定的でより持続的で低コストなエネルギー供給を目指す
電力の自給率は3%、ガソリンなど輸送コストが高い・・・電気自動車普及を目指す
30万円の補助
宮古島高校自動車科・・・メンテナンスの学習により地元産業へ
- ・エコハウス普及啓発事業・・・4泊まで体験
直射日光を遮り、熱の侵入を防ぐ、有孔ブロック・遮熱塗装、
風通しを良くする地窓、杉木材の利用（湿度を抑える）
- ・天然ガス利活用推進事業（H28年度～H31年度）（沖縄振興特別推進市町村交付金）
農業実証（リーフレタス） 足湯
- ・離島マイクログリッド実証事業・・・太陽光発電設備4MW，蓄電池4MW設置し、
再生可能エネルギーによる変動に対する安定化対策の実証
- ・宮古島市全島EMS実証事業・・・太陽光の安定化を図る事業
県→市→（株）ネクstemズ他 委託事業
- ・第三者所有による再エネ普及の取組・・・新エネ大賞受賞
 - ・需要家は、コスト負担なしで生活コスト削減
 - ・事業者は、一括大量調達により低コスト実現
 - ・故障リスクを分散化
 - ・ガス事業者との連携により、収益性確保
 - ・BtoBで需要成魚が容易に

○所感

宮古島市は、過去に大規模な災害や干ばつにより人口減少。逆に人口増加により豊富な地下水の硝酸態窒素濃度上昇により地下水質が悪化。危機的状況に。様々な危機を乗り越え持続可能な島づくり、いつまでも住み続けられる豊かな島を目指してエコアイランド宮古島宣言をし、1000年先を見越して様々な取り組みをしている。

地下水の保全のために地下ダムを作り、エネルギー自給率を上げるために電気自動車普及やエコハウス、再生可能エネルギー導入などCO2削減のために環境モデル都市行動計画に従って様々な事業が実施されている。太陽光発電などは、塩害による腐食で今は取り外されていた。風力発電は2基ほどたっていた。中々厳しいものはあるが、担当の意気込みは伝わった。薩摩川内市も宮古島市と様々情報交換をしているとか。地球温暖化防止が、持続可能な社会を築くことにつながるのであきらめずに取り組んでほしいと思う。

市民の方々がエコ活動に参加されるようにとエコ活動をしたらもらえる地域クーポンを作っておられ、協力店30店舗あるそうだ。中々面白い取り組みだと思う。

3： 放課後子ども総合プラン、学び遊び活動支援人材バンク

○ 調査地講師

いきいき学び課・石垣青少年センター（砂川氏）

○ 概要説明（資料あり）

共働き家庭等の小1の壁の打破及び、次代の人材育成のために、すべての児童が放課後を安心安全に過ごし、多様な体験活動ができるように放課後児童クラブ、放課後子ども教室の計画的な整備を行うことを目的とした国のプランが放課後子ども総合プラン。

石垣市では、放課後児童クラブは民設民営、校内の空き教室を使ってできる放課後子ども教室設置が多い。両事業の交流はあるが、一体型の施設は目標値に届かない。

学び遊び活動支援人材バンクは郷土・民族、レクリエーション・体育、歴史・文化、芸術・趣味、パソコン・情報処理など12分野に及び個人42人団体204人が登録し生涯学習や青少年育成など幅広く活動してもらっている。例えば成人式のための花の苗造り、放課後子ども教室でのしめ縄造りや凧造り。人材バンクは登録名簿も作成。

○ 所感

石垣市では、小学校低学年は祖父母のもとで放課後を過ごす子どもが多く、中学年が、スポーツ少年団活動を待つまでの間に、宿題をしたり、遊んだりするための放課後子ども教室のほうが利用されているようだった。放課後児童クラブも目標値は達成されていた。

放課後子ども教室と放課後児童クラブの連携一体型を目指しているようだったが、それはなかなか難しいと感じた。東京あたりでは、そのようになっているところを見てきたが、薩摩川内市ではそのようなところは一つもない。しかし、小学校低学年が、安心して安全に過ごせ、宿題も済ませておやつもある放課後児童クラブが増えてきており、共働き家庭やひとり親家庭のお役に立っているこの点は、薩摩川内市が充実していると実感した。

人材バンク登録についても薩摩川内市はあり、児童クラブなどでも使われていると思っている。地域によっては、考え方が違うことを実感した。

4： 那覇市エコオフィス計画～第4期実行計画（H28年度～H32年度）

○ 調査地講師

環境部環境政策課（徳嶺氏、仲本氏）

○ 概要説明 (資料あり)

・第4期エコオフィス計画は、市の施設の維持管理と市が実施するすべての事務・事業を対象に、温室効果ガス排出量を平成27年度比で平成32年度(令和2年度)までに5%以上削減することをめざし、温室効果ガス排出量の削減(抑制)に取り組んでいるもの。気温が2度上がると99%のサンゴが死滅、砂浜後退、海面上昇といわれる。

沖縄は、温暖化係数が、0.7で県外の0.5より高く、再エネが低い。

庁舎内では、節電意識を持つよう、エアコン等の適正使用に努め、学校などにもLED照明に替え、電機ではなく都市ガスクーラーに替え電気量削減、CO₂抑制に取り組んだ。

プロポーザル方式により(株)ファイナルゲートという民間と5年契約をし、本庁舎の照明や空調などのエネルギー設備の管理をしてもらっている。契約額は、462万1000円。H29年度をベースラインとした削減差額50%を対価とし、それに達しない場合は、対価の請求はない。

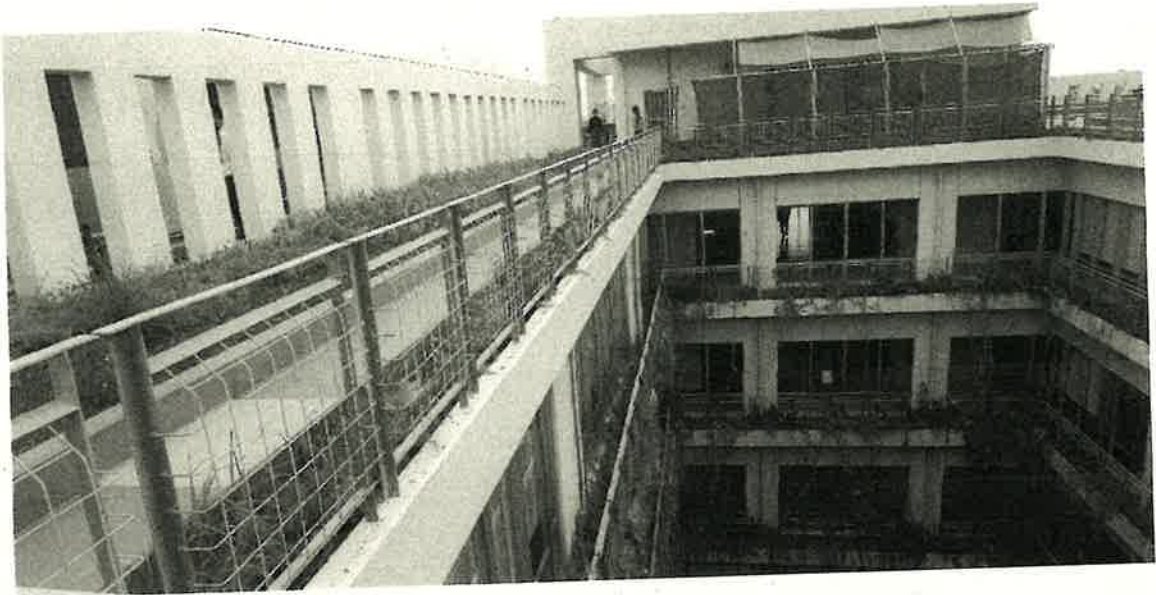
空調室外機のコンデンサ吸気口高圧洗浄。付着した汚れを取り除き、吸気量、熱交換効率の回復を図る、空調室外機の噴霧器設置。・・熱量を抑える目的。

令和元年度はH30年度と比べると、電気ガス共に若干の削減ができた。これは、空調室外機の高圧洗浄や噴霧器による機器の冷却により、効率が良くなり、ガス消費削減につながった。契約電力を720KWから685KWに変更したことで、電気料金も抑えられた。

○ 所感

・たいへん細かな計画ができており、省エネ法で求められる年1%以上の削減に向けて庁舎内で取り組んでおられることがよく分かった。薩摩川内市がエネルギーの町として様々なエネルギーがあることもご存じで那覇市の取組より進んでいるのではといわれたが、目に見えるように庁舎外壁のグリーン化、室外機のコンデンサ吸気口高圧洗浄、噴霧器設置など面白いなと思った。エレベーターではなく階段を使用することを勧める手作りポスター言葉に楽しくなり、屋上から、6階まで階段で降りた。今後は、市民向けにも啓発をしていく予定であったが、薩摩川内市もそれなりにはいろいろ取り組んでいるが、まだまだ楽しくできるような工夫ができたらと思うことだった。

○ 那覇市庁舎 屋上



政 務 調 査 報 告 書

令和 2年 2月 25日

薩摩川内市議会

議長 福 田 俊一郎 様

公明党

代表 中島 由美子



調査年月日 令和2年2月20日から21日まで

調査地 薩摩川内市里町、上甌町、下甌町

- 調査事項
- 1 甌島館の視察
 - 2 里・上甌支所意見交換
 - 3 下甌地域行政施設視察
 - 4 鹿島・下甌支所意見交換

上記の概要は、下記のとおりでした。

記

1. 甌島館の視察

○ エリアワンエンタープライズ社、岡社長をはじめ社員の方々が迎えてくださり、甌島館の中を見せていただき、様々な話を聞かせていただきました。中も結構きれいにしており、4月1日スタートに向け、準備されていると思った。39部屋では、利益も上がらないことから、カプセル式の部屋をもう少し準備しようなど考えておられた。

地元雇用も試みておられるが、人数がなかなか集まらないようだった。

地元の方々とも連携を図りながら、信頼を得られるようにと話すことだった。また、新幹線、飛行機そして、川内港、串木野港から里へのアクセスをもっともっとよくしてほしい、モトクロスなど自転車を持ち込めるようできないかなど色々甌島館を売り出すことも考えておられた。

行政等様々なところとも連携をしながら、交流人口を増やしていくべきだと思う。

2. 里、上甌支所意見交換（里支所）

藺牟田瀬戸架橋がいよいよ繋がるが心配なことや、問題点はないかとのことでご意見を聞かせていただいた。選挙投票所の集約、支所再編による職員減、災害時の職員不足、診療所の看護師不足、介護人員不足、老朽化施設修繕など出された。

高齢化、人口減少により、いろいろな人手不足が生じていると感じた。特に介護職員もいないため、ミニデイやショートステイなどもできないようだ。

里支所からは、漁業従事者補助金について、防風林である松についても話が合った。漁業従事者については高齢化していることと後継者がいないことが問題だと思う。しかし、現に従事している方々を守るために少しでも補助ができるようにするべきではと思う。

3. 下甑地域行政施設視察

下甑地域の医師住宅、青瀬の歯科診療所、手打診療所の医師住宅予定地など視察。青瀬歯科診療所は、古い施設で、2階にある。車いすの患者さんをおんぶしてやっと2階へ運んで治療したとのこと。またトイレも昔ながらのトイレであり、車いすの方は入れないとのこと。医師住宅も古い。新しく来てくださる医師には新築住宅が用意されるが、格差があるなど思う。同じように住環境を整備すべきかと思う。高齢者が多い所なので、少しでもバリアフリー整備をすべきではないかと思う。

4. 鹿島、下甑支所意見交換

里、上甑支所の方々同様に意見をお聞きした。同様の意見のほか、水道管配管の老朽化、行政施設の老朽化。長浜⇄鹿島間の道路整備。観光ルート草払いなど橋の供用開始と合わせて整備すべきではとのこと。また、職員住宅もなく劣悪な住環境とのこと。3~4年かもしれないが、職員住宅確保も大事だと思う。

以上、甑島上下を、あわただしく回ったが、甑島館の状況や、社長の考えなども聞かせていただき、有意義であった。また、甑島で働く支所職員の苦勞も感じることであった。財政が厳しい中ではあるが、計画的に必要な施設は維持管理のためにまた使いやすいようにバリアフリー化していくべきだと思う。

調査研究費
研修費

領 収 証

No.388403

公明党 様

令和元年 7月 22日
下記の通り領収致しました

合計金額 ¥ 62,520-

鹿児島市中央町18番地

南国交通株式会社

電



摘 要	金 額	備 考
視察費として	62,520	
調査研究費 41,820円		
研修費 20,700円		
消 費 税		発行部所
合 計	¥62,520-	川内営業所 (0996)23-3111

研修費

領 収 証

薩摩川内市議会
公明党

様

2019年7月23日

★

¥60,000

但 7/23 10:00～「あなたの知らない議会のチカラ」

7/23 14:00～「大学の先生ではわからない実務的な質問の仕方」

2名様 研修金受贈代として

上記正に領収いたしました



一般社団法人地方議員研究会

〒532-0004



大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639

TEL 06 (7878) 6297

※ 1講座 15000円 × 2 × 2名 = 60000円

研修費

市内旅費領収明細書



整理番号	日付	出張用務	起点～終点	旅費額	領収日	領収印	備考
1	7月23日	会派研修における市内旅費	隈之城～平佐西	110円	7/23		
2	7月23日	会派研修における市内旅費	可愛～平佐西	75円	7/23		
3			～	円			
4			～	円			
5			～	円			
6			～	円			
7			～	円			
8			～	円			
9			～	円			
10			～	円			
11			～	円			
12			～	円			
13			～	円			
14			～	円			
15			～	円			
16			～	円			
17			～	円			
18			～	円			
19			～	円			
20			～	円			

計 185円

* 薩摩川内市職員等旅費の支給に関する条例施行規則に準じて支出

調査研究費

市内旅費領収明細書

整理番号	日付	出張用務	起点～終点	旅費額	領収日	領収印	備考
1	7月24日	会派視察における市内旅費	平佐西～隈之城	110円	7/24		
2	7月24日	会派視察における市内旅費	平佐西～可愛	75円	7/24		
3			～	円			
4			～	円			
5			～	円			
6			～	円			
7			～	円			
8			～	円			
9			～	円			
10			～	円			
11			～	円			
12			～	円			
13			～	円			
14			～	円			
15			～	円			
16			～	円			
17			～	円			
18			～	円			
19			～	円			
20			～	円			

計185円

※ 薩摩川内市職員等旅費の支給に関する条例施行規則に準じて支出

① 調査研究費

領 収 証

No 394373



公明党 様

令和2年 1月9日
下記の通り領収致しました

鹿児島市中央町18番地1
南国交通株式会社
電話 (099)265-2141



合計金額 ¥ 167,760-

摘 要	金 額	備 考
視察費として	167,760	
消 費 税		発 行 部 所 川内営業所 (0996)23-2161
合 計	¥167,760-	

調査研究費

視察先(3ヶ所)への工産代

領 収 証

自民おつみ会・公明党 殿

平成 2 年 / 月 2 / 日
令和

金 額			7	1	1	9	8	5
-----	--	--	---	---	---	---	---	---

但 お工産代として(3ヶ所分)

参加人数により按分

自民おつみ会 $11985円 \div 9人 \times 7人 = 9321.7円 = 9322円$

公明党 $11985円 \div 9人 \times 2人 = 2663.3円 = 2663円$

上記正に領収いたしました

白石 酒 店

〒895-0055 鹿児島県薩摩川内市西開聞町11-32
TEL・FAX 0996-22-7215

収 入


印 紙

扱 者 印

* 領収書の原本は 自民おつみ会の報告書に添付。

調査研究費

市内旅費領収明細書

整理番号	日付	出張用務	起点～終点	旅費額	領収日	領収印	備考
1	1月14日 1月17日	会派視察に伴う市内旅費	隈之城 ～ 平佐西	220円	1/17		
2			～	円			
3			～	円			
4			～	円			
5			～	円			
6			～	円			
7			～	円			
8			～	円			
9			～	円			
10			～	円			
11			～	円			
12			～	円			
13			～	円			
14			～	円			
15			～	円			
16			～	円			
17			～	円			
18			～	円			
19			～	円			
20			～	円			

※ 薩摩川内市職員等旅費の支給に関する条例施行規則に準じて支出

政務活動費支払証明書

使途項目 調査研究費

支払年月日	支払額	支払先	使途及び内容	添付できない理由
R02.1.14 R02.1.17	3,200 円	南国交通(株)	川内駅から空港までのバス賃 (1,600 円×2 日)	当日、乗車券を購入したため
"	3,200 円	南国交通(株)	大小路から空港までのバス賃 (1,600 円×2 日)	当日、乗車券を購入したため
合計	6,400 円			

上記のとおり相違ないことを証明します。

令和 2 年 1 月 1 7 日

会派名 公明党
代表者 中島 由美子



調査研究費 ①

高速船 甌島 川内港 → 里港 3440円 × 2人分

領 収 書

令和2年2月20日

公明党 様

¥3,440-

印 紙

但

上記正に領収いたしました

鹿児島県いちき串木野市西薩町12番地

九州海運株式会社

TEL 0996-32-2161

※保管上のお願い

印刷面を内側に折って保管願います。

領 収 書

令和2年2月20日

公明党 様

¥3,440-

印 紙

但

上記正に領収いたしました

鹿児島県いちき串木野市西薩町12番地

九州海運株式会社

TEL 0996-32-2161

※保管上のお願い

印刷面を内側に折って保管願います。

調査研究費 ②

フェリーニューニシキ 里港→長浜港 1500円×2人分

領 収 書

令和2年2月20日

公明党 様

¥1,500-

印 紙

但 旅客運賃代として

上記正に領収いたしました

鹿児島県薩摩川内市里町里16

飯ポートサービス(株)

TEL 09969-3-2019

※保管上のお願

印刷面を内側に折って保管願います。

領 収 書

令和2年2月20日

公明党 様

¥1,500-

印 紙

但 旅客運賃代として

上記正に領収いたしました

鹿児島県薩摩川内市里町里16

飯ポートサービス(株)

TEL 09969-3-2019

※保管上のお願

印刷面を内側に折って保管願います。

調査研究費 ③

領 収 証

中島由美子

様

No. _____

★

内 訳
現金
小切手 /
手 形 /
消費税額等(%)

¥ 7,880 -
但 宿泊代 1泊朝食

2020年 2月 21日 上記正に領収いたしました

鹿児島県薩摩川内市下郷町長浜1233-3
ホテルにしきしま 親和館

収入印紙

コクヨ ウケ-98

領 収 証

杉園道朗

様

No. _____

★

内 訳
現金
小切手 /
手 形 /
消費税額等(%)

¥ 7,880 -
但 宿泊代 1泊朝食

2020年 2月 21日 上記正に領収いたしました

鹿児島県薩摩川内市下郷町長浜1233-3
ホテルにしきしま 親和館

収入印紙

コクヨ ウケ-98

調査研究費 ④

高速船 甑島 長浜港 → 川内港 3440円 × 2人分

領 収 書

令和2年2月21日

公明党 様

¥6,880-

印 紙


但

上記正に領収いたしました
鹿児島県いちき串木野市西 番地
九州海運株式会社
TEL 0996-32-2161

※保管上のお願
印刷面を内側に折って保管願います。

調査研究費

市内旅費領収明細書

整理番号	日付	出張用務	起点～終点	旅費額	領収日	領収印	備考
1	2月20日 2月21日	会派調査に伴う市内旅費	隈之城 ～ 平佐西	220円	2/21		
2			～	円			
3			～	円			
4			～	円			
5			～	円			
6			～	円			
7			～	円			
8			～	円			
9			～	円			
10			～	円			
11			～	円			
12			～	円			
13			～	円			
14			～	円			
15			～	円			
16			～	円			
17			～	円			
18			～	円			
19			～	円			
20			～	円			

※ 薩摩川内市職員等旅費の支給に関する条例施行規則に準じて支出

政務活動費支払証明書

使途項目 調査研究費

支払年月日	支払額	支払先	使途及び内容	添付できない理由
R02.2.20	150 円	南国交通㈱	川内駅から川内港ターミナルまでのバス賃 (150 円×1 人)	当日、乗車券を購入したため
〃	150 円	南国交通㈱	大小路から川内港ターミナルまでのバス賃 (150 円×1 人)	当日、乗車券を購入したため
R02.2.21	150 円	南国交通㈱	川内港ターミナルから川内駅までのバス賃 (150 円×1 人)	当日、乗車券を購入したため
〃	150 円	南国交通㈱	川内港ターミナルから大小路までのバス賃 (150 円×1 人)	当日、乗車券を購入したため
合計	600 円			

上記のとおり相違ないことを証明します。

令和 2 年 2 月 2 1 日

会派名 公明党
代表者 中島 由美子



資料購入費 ①

地方キーワード 加除分

地方行財政改革の現状、課題、方向性について論点に生かすため

振替払込請求書 兼受領証	
口座番号	00140 ■ 8 ■ 10000
加入者名	株式会社きょうせい
金額	千 百 十 万 千 百 十 円 2 9 4 8
振込先	みずほ銀行 銀行 東京営業部 支店 鹿児島県薩摩川内市
依頼人住所氏名 <input checked="" type="checkbox"/> 切り取らないでお出しください。	公明党 杉菌 道朗
	要打電項目 : 906141645 様
料 金	日 附 印 01-06-26 川内中郷 郵便局
備 考	(78464) N94130003 <small>(CVS5555)</small>

この受領証は、大切に保管してください

資料購入費 ②

地方キーワード 加除分

地方行財政改革の現状・課題・方向性について論点に生かすため

通常払込目金 加入者負担		振替払込請求書 兼受領証	
口座番号	00140 ■ 8 ■ 10000		
加入者名	株式会社 きょうせい		
金額	千	百	十 円
		3	003
振込先	みずほ銀行 銀行 東京営業部 支店		
<input checked="" type="checkbox"/> 依頼人住所氏名 <small>切り取らないでお出しください。</small>	普通預金 4913720 カギヨウセイ 鹿児島県薩摩川内市 公明 杉菌 道朗		
	要打電項目 : 003307065 様		
料 金 備 考	日 附 印		
	02-03-27 川内中郷 郵便局 (78464) N94290002 (eVSU, 通付)		

この受領証は、大切に保管してください

事務費 ①

西暦		2020年 3月 12日		領 収 証		No. 0737450			
						レシートの上伝票番号 23100-			
						0308154-7			
公明宛 様									
金額		百万	拾万	万	千	百	拾	円	
				1	4	8	8	7	
内消費税				7	4	4	4		
内	現金			7	4	8	8	7	
	訳							X	
	残金								
店名	薩摩川内店								
係名	[Redacted]								
		但し 仁カトリック・同組代として						収入印紙 貼付 印	
		上記金額正に領収いたしました						K ケースデンキ	
		〒310-8282 茨城県水戸市桜 [Redacted] 号						株式会社 九州 [Redacted] キ	

※商品・配送・修理に関するお問い合わせは、お買上店までお願いいたします。
※店名・係名のないもの、金額を訂正したもの及び複写でないものは無効です。

事務費②

領 收 証

公明党 様

令和 2 年 3 月 5 日
平成

¥ 4,300

但

250-円紙代
上記正に領収いたしました

お買上額	
消費税	



紙・文具・事務機・包装資材・書道用品

株式会社 大黒紙

本店 / 薩摩川内市向田本町14-22

TEL: 0996(22)6125

卸部 / 薩摩川内市天辰町101-13

TEL: 0996(20)0770



事務費 ③

西暦	2020年 3月25日		領 収 証		No. 0808801	
					レシートの上伝票番号 23100-	
					0420952-0	
公 明 党 様						
金額	百万	拾万	万	千	百	拾
			¥ 9	8	6	0
内消費税			¥	8	9	6
内	現金		498	60		
訳						
残	金		40			
店名	〒 陸奥 野田川内店					
係名	[Redacted]					
			但し 1. ワイドレイト 2. フォンターカートリッジ			
上記金額正に領収いたしました						
KS ケースデンキ						
〒310-8282 茨城県水戸市桜川4丁目1番11号						
株式会社 九州 ケースデンキ						

収入印紙
貼 付
印

※商品・配送・修理に関するお問い合わせは、お買上店までお願いいたします。
 ※店名・係名のないもの、金額を訂正したもの及び複写でないものは無効です。

事務費④

領 収 証

№ 001412

令和 二年 3 月 25 日

広明堂 様

金額		百万		千	円
				9220	

印 紙

但し

1000円 (蓋印用)

上記の金額正に領収致しました

現金	小切手	相 殺
手形	/	/
その他		



代表取締役 宮 司 和 光

本 社：〒895-0072
鹿児島県薩摩川内市中郷町6338-1
☎0996-23-2513(代) FAX0996-22-7201
コピーセンター：☎0996-27-3418 FAX0996-27-3403

取扱者

(注) 社印、取扱者印のないもの並びに金額訂正複式でないものは無効です

事務費 ⑤

西暦	2020年 3月28日		領 収 証		No. 0808806	
					レシートの上伝票番号 23100-	
					0309826-2	
公明党			様			
金額	百万	拾万	万	千	百	拾 円
			1	7	0	64
内消費税					6	42

収入印紙 貼付

印

内	現金	1	7	0	64
訳					4
残	金				40

但し お品代として
 テアラクターリボン XR18YW
 XR18WE, XR12YW, XR12WE, XR9YW, XR9WE

上記金額正に領収いたしました

店名	薩摩川内店
係名	[Redacted]

KS ケースデンキ

〒310-8282
 茨城県水戸市桜山1丁目1番1号
 株式会社九州ケースデンキ

※商品・配送・修理に関するお問い合わせは、お買上店までお願いいたします。
 ※店名・係名のないもの、金額を訂正したもの及び複写でないものは無効です。

テアラ リボン代 (テアラ本体は、議会事務局より借用)